

第9章

人事院総裁賞及び各方面との意見交換

第1節

人事院総裁賞

「人事院総裁賞」は、国民全体の奉仕者として、長年にわたる地道な活動や高いモチベーションの下での勇気ある行動などを通じ、行政サービスや国民生活の向上に顕著な功績を挙げ、国民の期待に応えた国家公務員（個人又は職域）を顕彰するもので、昭和63年に人事院創立40周年を記念して創設された。

被顕彰者は、人事院総裁の委嘱する各界有識者から成る選考委員会（令和6年度は玉塚元一委員長（株式会社ロッテホールディングス代表取締役社長CEO）のほか、7人の委員）が、各府省及び行政執行法人から推薦された職員又は職域グループについて厳正な審査・選考を行い、その結果に基づいて人事院総裁が決定している。

第37回を迎えた令和6年度「人事院総裁賞」は、個人1名及び職域3グループに対して授与された（表9）。授与式は、令和7年2月25日、東京都内において行われ、翌26日に、皇居において天皇皇后両陛下に御接見を賜った。

令和6年度までの被顕彰者の合計は、個人72名、職域118グループとなっている。

表9 令和6年度「人事院総裁賞」受賞者及び受賞職域グループ

(1) 個人部門

氏名・官職名	顕彰理由
海上保安庁 第三管区海上保安本部 横浜海上保安部 警備救難課 海上防災係長 徳永 悠希	特殊救難隊に代表される高度な知識・技術を要する救助勢力として、沖縄八重山諸島周辺海域をはじめ全国各地での人命救助活動に尽力。ネパール大地震など海外での人道支援にも参画。潜水等の新手法導入や他機関への指導・協力、後進の指導・育成、離職防止にも精力的に従事し、国民の安全確保に大きく貢献。

(2) 職域部門

府省名・職域名	顕彰理由
農林水産省 #食べるぜニッポンプロジェクトチーム	ALPS処理水の放出に伴う海外からの輸入停止等により、深刻な影響を受けた水産業支援のため、部局横断の広報プロジェクトを短期間で立ち上げ。誰でも参加しやすいSNS広報を展開し、ホタテ等の水産物消費の呼びかけが全国に拡散されるという広報のモデルケース構築に成功。
環境省 関東地方環境事務所 佐渡自然保護官事務所	野生絶滅したトキについて、佐渡島内において推定個体数が500羽を超えるなど安定的に生息する状況を実現。地域の理解促進、生息環境の整備、科学的知見に基づく繁殖・放鳥等について、継続して丁寧な調整、対応に努め、日本の自然環境保全に大きく貢献。
独立行政法人国立印刷局 工芸部門	150余年にわたり継承してきた伝統技術とデジタル技術とを融合して、20年ぶりとなる新しいお札のデザインを作り上げた。長年にわたる伝統技術の継承と技術開発が、高い偽造防止効果の基盤となっており、日本の通貨に対する信頼性確保に大きく貢献。



天皇皇后両陛下の御接見を賜る受賞者

第2節 各方面との意見交換等

人事行政を適切に運営していくため、各方面から公務員や公務員制度に対する率直な意見を聴取するとともに、公務に対する理解を得るよう努めている。

これらの意見については、制度改革などを通じ、人事行政の方針の策定や運営面に反映させていくこととしている。

1 公務員問題懇話会

地方の実情を的確に把握するため、札幌市、静岡市及び高松市において、人事行政全般に関する諸問題について、それぞれの地域の各界有識者と人事院幹部が意見交換を行った。

2 企業経営者等との意見交換

中小企業経営者、報道機関の論説委員等を対象に、令和6年4月から5月にわたり全国52都市において、国家公務員給与の決定方法、人事院勧告の意義・役割等を説明するとともに、地域における経営環境、賃金改定の動向及び公務員給与の在り方等に関して率直な意見交換を行った。

3 参与との意見交換

人事行政に関する重要な事項について意見を求めるため、各界の有識者に参与を委嘱し、人事行政施策の工程表の進捗状況などについて意見交換を行った。

4 有識者の職場訪問

ふだん目に触れることの少ない各府省の様々な職種の勤務実態などを目の当たりにすることで、公務員に対する理解を深めてもらうことを目的に、外部有識者の職場訪問を行っている。令和6年度は、本院及び沖縄事務所において、報道機関の論説委員、人事院総裁賞選考委員等の有識者による人事院総裁賞受賞官署、地方法務局、地区税関等への訪問・視察を行った。